

気流

読売新聞 平成30年(2018年)11月6日(火)

授業中やり取り 心弾ませた手紙

大学生 粟飯原真央 21
(奈良市)

部屋を片付けていると、大量の小さな紙切れが出てきた。中学や高校時代にももらった手紙だった。授業中に届け合ったり、休み時間に友だちの机にコソッと置いたりしたものだ。

恋愛話や、あの先生はああだこうだ、とたわいない内容だった。今思えば、手間のかかる伝達方法だが、ドキドキして返事を待ち、手紙を読んで送り主と顔を合わせ、クスクスと笑う。この感じがたまらなく楽しかった。

今はインターネットの交流サイトなどで楽に連絡が取れるが、昔の手紙を見て、手書きの文字が恋しくなった。「今日、お昼ご飯どこで食べる？」と紙切れに書いて、大学の友だちに渡してみようかな。

※無断転載不可